

CONTENTS

地域発NEWS 1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介 5~6
特集コーナー 7
使える！行政情報& 8
研究・技術の参考情報
地域のこの人 9
東北森林管理局の管内で 10
予定されているイベント情報



岩手県葛巻町の馬淵川源流公園駐車場から登山道を約20分歩くと、視界に放牧地が広がり、登山初心者にも人気の安家森（標高1,239m）（右）と遠別岳（標高1,235）（左）の山頂を望むことができます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

協定締結による国民参加の森林づくり

秋田

由利森林管理署

「社会貢献の森」は、地球温暖化防止など地球環境保全への関心が高まっている中、企業などにおいて社会貢献活動の一環として森林の保全・整備に取り組みたいという要請に応えるため、企業と森林管理署長などが協定を結び、森林整備活動のフィールドとして国有林を提供する制度です。

当署は令和6年6月24日に株式会社ジェイテクトIT開発センター秋田と「社会貢献の森」における森林整備等の



協定締結の様子

活動に関する協定を締結しました。協定箇所である由利本荘市水林国有林に位置する松林は、海からの飛砂や潮風から市民の安全で安心できる生活を守ってきましたが、近年、松くい虫による被害が発生し、伐倒等の対策を行っています。この協定では松くい虫の被害があった海岸林への植樹、保育等の森林整備をとおして、植樹によるカーボンニュートラルの実現に向けた貢献及び植樹体験を通じた自然環境に対する理解向上を目的とした活動を行います。

今後、植樹、下刈などの森林整備や環境教育活動が計画されており、現在はPR看板作成や作業を予定している個所の刈払いや秋の植樹に向けた準備などが行われています。

当署では、協定に基づき活動が円滑に実施されるよう助言等の協力を行うとともに、引き続き多様な森林整備や保全活動の要請に対応した国民参加の森林づくりを推進していきます。

国民の森林・国有林野の活用

宮城

宮城北部森林管理署

当署管内の国有林には、紅葉の絨毯で有名な栗駒山や高山植物の宝庫である世界谷地原生花園、石巻市牡鹿半島突端の洋上に浮かぶ金華山など観光地や鬼首スキー場等のレクリエーションの森があり、たくさんの方々に利用されています。

これらの森林は、地元の方や県、市町村など地方公共団体から観光地を含めた国有林の活用の要望が多くあり、法令に基づいて当署から国有林野内の貸付を行い、地域振興に活用していただいています。



栗駒山を望む世界谷地原生花園

また、近年は、SNSへ投稿する美しい風景や大自然の動画撮影などを目的に国有林内でドローンを飛行される方が多くなっています。一般の方が国有林内でドローンによる撮影、取材や調査などで入林を行いたい場合には、「入林届」の提出をお願いしていますので、お気軽に管轄の署へご相談ください。

今後も国有林野の貸付けや入林手続きなど、日々の業務を通して、多くの人に国有林を身近に感じてもらえるよう、貢献していきます。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

より魅力的な森林土木工事を目指して

岩手

盛岡森林管理署

みなさんは「選ばれる森林土木」という言葉をご存じでしょうか？あまり聞きなじみの無い言葉かもしれませんが、「選ばれる森林土木」とは、林野庁が目標として掲げる、生産性を向上させ、適正な利潤を確保することで、森林土木工事を魅力的な仕事へ転換していこうという取組のことで、具体的には、現場条件が厳しい森林土木工事において、施工性の高い工種・工法の適用や、提出書類の簡素化など、取組は多岐にわたります。

当署では効率的な工事の実施のために、ドローンやタブレット端末などICT機器の活用に取り組んでいます。最近では、iPhoneのLiDAR※機能を活用し、工事で完成した林道施設の確認ができないかなどの検討を行っています。また、工事の施工業者も、山間奥地で電波が通じるようになる技術や3D



LiDAR機能による施工状況確認

技術などを導入し、ICTの活用を積極的に行っています。

双方がICTを活用することにより、作業の効率が上がったことはもちろん、より安全に作業が行えるようになったとも感じています。

今後もICT機器の活用方法等の検討をしていく中で、工事に従事する人が働きやすい環境づくりを目指していきます。

※撮影対象物にレーザーの光を照射し、反射した光の情報から対象物の形状などを測定する技術

白神山地での自然再生活動

青森

津軽白神森林生態系保全センター

当センターでは、平成21年3月に策定された「白神山地周辺地域自然再生計画書」に基づき、平成22年度より自然再生活動として一般参加者を対象にブナ等広葉樹の苗木の採取及び植樹体験を実施しています。

今年度第1回目は、7月20日に青森県西目屋村鬼川辺国有林180ろ2林小班内にて、参加者8名とセンター職員5名で実施しました。

実施内容は、あらかじめ当センターが近隣から採取し仮植していたブナ、ホオノキ、イタヤカエデ、トチノキ稚樹計20本を掘り取ってから、植付作業を実施しました。当日は、雨上がりで気温も高くこまめな水分補給をしながらのハードな作業でしたが、植付作業終了後、皆さん達成感で満たされた顔をしていたのが印象的でした。植樹を体験した後は、暗門ブナ林散策道を散策して白神山地の美しさを堪能していただきました。



植付を行っている様子

当センターでは、9月28日にも第2回自然再生活動を実施する予定となっています。ぜひとも、世界自然遺産周辺地域での植付作業に参加して、白神山地の自然を体感していただければと思います。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

センサーカメラで野生動物の動向を探る

秋田

米代東部森林管理署

森林には様々な野生動物が生息していますが、時にはその動物たちが森林の育成に被害をもたらす場合があります。例えば、ニホンジカやウサギ、ネズミなどによる苗木の食害、ツキノワグマによる樹皮はぎといった被害です。

東北森林管理局管内でもこれらの被害が見受けられ、せっかく植えた苗木等の健全な生長を阻害しています。当署はまだそれほど深刻な被害は確認されていませんが、常日頃から野生動物の動向を把握することが重要となってきます。

そこで国有林内にセンサーカメラを設置し、野生動物の生息状況や行動を観察しています。カメラの設置により、以前はあまり姿を



ニホンジカ

みなかったニホンジカが当署管内で確認される回数が増えてきていることが分かりました。

今後もセンサーカメラで野生動物の動向を把握



ツキノワグマ

し、少しでも森林への被害対策に活用できるよう取り組んでいきたいと思えます。

ICTを活用した安全かつ効率的な木材生産

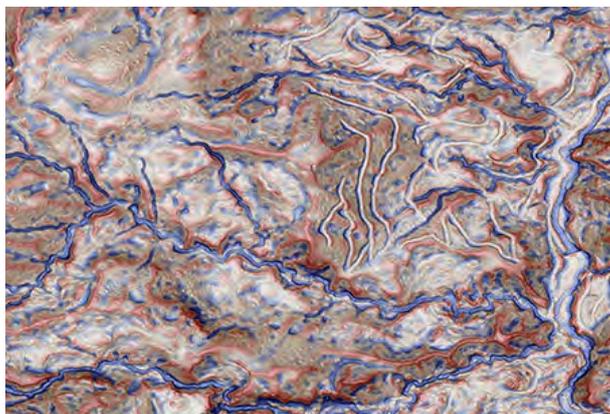
山形

山形森林管理署

木材の伐採及び搬出を行うためには、伐採後の木材を搬出するための道（作業道）を作る必要があります。この作業道を作る際には、最初に地形図や航空写真から谷や尾根、傾斜といった情報を読み取り、事前に安全かつ効率的な作業道のルートを考えて上で実際に現地を確認しながら作業道を作っていきます。

しかし、これらの情報を地形図から読み取るには豊富な経験が必要であることや、実際には図面には表れない危険箇所があることもあり、現地確認後にルートを変更することも多々あります。

これらの作業を安全かつ効率的に実施するためには、航空レーザ計測による地形解析が有効で、一般的な地形図よりもわかりやすく、詳細に色分けされた地形図を作成することができ、作業道のルートを事前に正確に計画しやすくなります。



航空レーザ計測により作成した地形図
(青線が谷、赤線が尾根、白線が過去に作成した作業道)

また、航空写真では判読できない過去に作成された作業道も明瞭に判読できるため、一度作った作業道を再利用することにより、コストを減らすこともできます。

このように、航空レーザ計測の成果を様々な形で活用することで、より安全で効率的な「新しい林業」に役立つことが期待されています。

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

新しい収穫調査法の実践的導入に向けて

岩手

岩手北部森林管理署

近年、主伐期に達した人工林が増加し、より本格的な利用期を迎えています。このため、簡単で精度に優れた収穫調査法が必要となっています。

従来、国有林で導入している収穫調査法は、木を1本1本測る毎木調査法や標準的な一部の区域を測る標準地調査法が主体でしたが、近年では地上型3Dレーザ計測（OWL）による調査も実施されるようになってきました。東北森林管理局では、さらに増加が見込まれる収穫調査への課題に対応するため、標準地調査法の一つとして、新たなルート調査法（分散型標準地調査法、材積倍調査法）の導入に向けて試行を進めています。

分散型標準地調査法は、小型の標準地を分散して複数個取っていく手法です。



測竿による分散型標準地の取得

材積倍調査法は、①「林分材積簡易測定板」でha当たりの林分蓄積を推定②林分材積（林分蓄積×小班面積）を算出③林分の本数・品質等（小型標本木区域内で調査した標本木の本数・材積を②で算出した林分材積分、倍化）を算出して、調査結果とする手法です。

現在、当署では、従来の標準地調査法と新たなルート調査法に係る時間データを様々な現地で取得し、現地の状況に応じた効果的な使い分けを明らかにする作業を進めています。

なお、この成果については年明けに開催される森林・林業技術交流発表会で報告する予定です。

鳶の森で地すべり防止工事を実施中!!

青森

三八上北森林管理署

八甲田連峰から十和田湖・奥入瀬溪流へ至る八甲田・十和田ゴールドライン（国道103号）沿いの鳶温泉付近にある鳶沼には、静かな湖面に森の木々を映す絶景があり、世界中から多くの観光客が訪れます。訪れる方が利用する道路やホテル、地域住民の生活を災害から守るため、当署ではここで、地すべり防止工事を行っています。

鳶温泉周辺はもともと地すべり地帯となっており、平成19年から実施した対策工事の効果により地すべりは一時収まりましたが、その後、東日本大震災やまれに発生する豪雨等をきっかけに、再び地すべり活動が始まりました。

このため現在は長さ400m、幅270mを対象に、地すべり活動の原因である地下水を排水するための井戸を10箇所に設置する工事を令和5～9年度までの計画で実施しています。

具体的には直径3.5mの縦穴を深さ約30m掘削し、そこから水平方向へ直径4cmの横穴^{しゅうすいせい}を掘削して地下水を集め、下流へ排水する集水井という工法を採用しています。



横穴を掘削している状況

計画では令和6年度までに3基が完成する予定となっており、地域の安全を保つため、今後も計画的に工事を実施することとしています。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

青森

にしつがるくんあしがさわまち
青森県西津軽郡鰺ヶ沢町

津軽森林管理署

鰺ヶ沢町は、青森県の西海岸に位置し、北は日本海に臨み、南は世界自然遺産「白神山地」に面する自然豊かな町です。鰺ヶ沢町は津軽藩の始祖とされる大浦光信公が種里城を居城としていたことから、津軽藩発祥の地とされ、藩政時代には、北前船の往来により津軽藩の御用港として栄えました。



種里城跡 光信公の館

◎令和6年9月28日(土)白神の森遊山道の無料開放デー

トレッキングスポット「白神の森遊山道」ではブナの原生林をはじめ、世界自然遺産白神山地の美しい森林景観を楽しむことができます。安全確保のため、ガイド付きトレッキングのみ入山可能となっており、事前予約が必要です。令和6年9月28日(土)には無料で開放される予定で、ガイド付きトレッキングはもちろんのこと、自由散策もお楽しみいただけます。



白神の森遊山道(黄葉時期)

◎鰺ヶ沢町の食材の宝庫「海の駅わんど」

新鮮な野菜や果物、地元の食材を使った加工品や土産品などが集まり、ご当地丼「ヒラメのツケ丼」や白神山地の水を使ったコーヒーが味わえるお店やオリジナルの海鮮丼が作れるお店などお食事メニューも豊富です。



海の駅 お土産品販売シーポッポ



ヒラメのツケ丼

「ヒラメのツケ丼」は、白神山地の清流が流れ込む日本海が育んだ鰺ヶ沢産の極上ヒラメを贅沢にツケにし、たっぷりにご飯にのせた絶品ご当地丼です。町内各店舗がオリジナルの漬けダレで、美味しい丼を提供しています。

◎令和6年10月6日(日)「あじがさわフードフェス2024」を開催

鰺ヶ沢町の魅力である食を満喫できるイベントが令和6年10月6日(日)に開催されます。ヒラメのツケ丼をはじめ、お肉やスイーツなど、「鰺ヶ沢のグルメ」が一堂に会します。当日はステージイベントやボディメイクコンテストなど、たくさんの催し物がありますので、皆様のご来場をお待ちしております。

お問合せ先：鰺ヶ沢町企画観光課 Tel.0173-82-0923

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手

岩手県下閉伊郡山田町

三陸北部森林管理署

山田町は岩手県の沿岸部、三陸海岸のほぼ中央に位置し、三陸では珍しい波が穏やかで風光明媚な「海の十和田湖」とも呼ばれる山田湾と、三陸らしい荒波とダイナミックな断崖絶壁の風景が見られる船越湾の2つの湾に面しています。

山田湾は周囲を山々に囲まれる湾の特徴から、外洋の影響を受けにくく、複数の河川から豊富な栄養が運ばれ、湾内では豊かな自然環境を生かしたカキやホタテの養殖が盛んに行われています。山田湾では体験型の観光プログラムとして、養殖いかだの見学ができ、現役漁師がガイドを務め、カキやホタテをどのように育てているか養殖いかだの間近で見ることができます。船上での試食体験も可能です。



山田湾での養殖いかだ見学

また、養殖漁業の中でもカキの生産量が多く、山田町には蒸し牡蠣食べ放題の「三陸山田かき小屋」



食べ放題で蒸し牡蠣を堪能！

があります。例年11月から5月末まで営業しており、完全予約制でぷりぷりの牡蠣を思う存分味わうことができます。

自然豊かな山田町の魅力は海だけではなく、太平洋沿岸をつなぐ自然歩道・みちのく潮風トレイルのコース上にそびえる標高507mの霞露ヶ岳は、海拔0mからの登山ができる珍しい山として近年人気となっており、多くの登山客が太平洋の絶景を満喫しています。



霞露ヶ岳から望む山田湾

さらに、山田町では地元の原木を使用して生産されたシイタケが有名で、特に乾椎茸は「全農乾椎茸品評会」で最高賞を10回以上受賞し、「名人」の称号をもつ4人のうち2人が山田町の生産者です。また、マツタケの産地としても有名で、香りが強く、品質の良いマツタケが採れることで知られています。



特産品の原木シイタケ

海・山の両方が楽しめる山田町にぜひお越しください。

お問合せ先：山田町水産商工課 Tel:0193-82-3111

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



藤里駒ヶ岳登山道(樺岱コース)き点検整備

藤里森林生態系保全センター

白神山地のほぼ中央に位置する藤里駒ヶ岳に至る登山道の樺岱コースは、知る人ぞ知る原生的なブナ林を堪能できるコースとなっております。道中に広がるブナ林は圧巻であり、駒ヶ岳手前の前岳から山頂までの稜線歩きは、どこまでも続くブナ林を眼下に一望することができます。

しかし、藤里駒ヶ岳山頂から手前約500m付近(通称鎖場)の登山道が急峻で滑落の危険があるため、登山者が安全に登れるようにロープや鎖を設置しておりますが、近年、老朽化が激しく安全の確保が難しくなっていることから、関係機関と連携し、応急措置として登山道を点検しながら、鎖場のロープの交換等を行いました。

令和6年5月15日、秋田白神ガイド協会から会長を含め7名、藤里町役場職員2名、米代西部森林管理署1名、当センター1名の合計11名の参加により実施しました。

樺岱登山道入り口から登り始めて40分ほどでブナ平に到着し、原生林を眺めながら休憩を取り、その後、登山道上の落枝等を取り除きながら登り続け、50分ほどで稜線に出ました。(写真①)



写真①藤里駒ヶ岳の稜線

素晴らしいブナ林を眼下に望みながら稜線を歩き、途中、シラネアオイ(写真②)の美しさに癒されながら、目的地である通称鎖場に2時間ほどで到着しました。予想どおり、鎖場周辺の登山道は傾斜が非常にきつく、立っているのがやっという状態でしたが、ガイド協会の方々は、急斜面などなんのその、テキパキとロープの交換作業と落石の除去作業を実施していました。(写真③)



写真②稜線に咲くシラネアオイ



写真③登山道(通称鎖場)の整備状況

通常、藤里駒ヶ岳山頂(写真④)への登山は、最短ルートである「黒石コース」が一般的ですが、現地に向かうための県道西目屋二ツ井線が災害対策工事のため、令和6年、7年度は通行規制(黄葉期の10月の1カ月間は通行止めを解除)されています。これまで観光客が多かった岳岱方面へ行くことができず、観光面への影響も考えられたため、少しでも多くの登山者が訪れ、安全に登山を楽しんでもらうことを目的に、今回、樺岱コースの点検整備を行いました。



写真④藤里駒ヶ岳山頂の様子

健脚で体力に自信がある方は、是非、樺岱コースから藤里駒ヶ岳山頂を目指してはいかがでしょうか。

下刈方法の選択について

下刈とは、造林木の成長を阻害する雑草木を除去することで、造林木が成林するための最初の保育作業として、その林分に最も適した作業を選択する必要があります。

また、伐採から再造林・保育に係る収支を考慮した、持続的な林業経営に取り組むためには、造林コストの縮減が重要な課題の一つとされていることに加えて、下刈は炎天下での作業となることから省力化が必要とされています。

下刈箇所の選定には、画一的な計画とならないように造林木と雑草木との伸長状態などにより要・不要を判断する必要があります。東北森林管理局では判断目安を設けて前年度に計画しています。

下刈の方法としては、全刈・筋刈などがあり、全刈は、造林木の成長を阻害する雑草木を全面にわたって刈払う方法であり、造林木に対し最も陽光を与えることができることから、カラマツなど陽性の樹種に適しております。筋刈は、植栽列に沿って帯状に刈払う方法であり、刈残し部分が日陰となることから陽光を多く要求する樹種には不適とされています。

当局としては、カラマツより陽光が少なくても成長するスギ造林地を中心として筋刈を選択し、全刈に比べ刈払い面積が少なくなることから、作業の省力化と造林コスト縮減に取り組んでいます。



筋刈作業箇所 (岩手県岩手北部署管内)

ご関心のある方は、森林整備課
(TEL:018-836-2162)へお問合せ下さい。

雪寒冷地における大苗植栽の特性について

林野庁では、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を掲げ、実現するための施策の一つとして、令和3年6月に改正された森林・林業基本計画では、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」を目指す取組を展開しています。

近年、下刈作業における低コスト化に資する取組として大苗が注目されており、当センターでは、多雪寒冷地における大苗植栽の特性を明らかにし、実用化に向けたデータを蓄積することを目的として、秋田県上小阿仁村にスギ、岩手県八幡平市にカラマツのコンテナ大苗（苗高60cm以上）とコンテナ通常苗（苗高35cm以上）の植栽試験地を設定しました。

秋田県上小阿仁村に植栽してから5年が経過したスギの調査結果では、生存率は大苗、通常苗ともに9割以上と良好ですが、大苗は積雪による折れや枯れが多く発生する傾向が見受けられました。また、樹高成長については、植栽時におけるコンテナ大苗とコンテナ通常苗の樹高差（30cm程度）を維持する結果となりました。今後、大苗を植栽する際は、形状比※が低く、更に成長の良い大苗を植えることができれば、優位な樹高差により下刈回数を減らすことが可能と考えます。



スギコンテナ大苗 (秋田県上小阿仁村)

カラマツを含めた本取組の詳細については森林技術・支援センターのホームページに掲載してありますので、御興味を持たれた方はぜひ御覧になってください。

※樹高を直径で割った値、形状比が高い木は風雪害に弱いと言われる。

ご関心のある方は、森林技術・支援センター
(TEL:0173-57-9022)へお問合せ下さい。

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林
管理署等で働く人の紹介です。

やりがいのある仕事は心と体のプロテイン

秋田

秋田林業土木協会

株式会社山脇組 丹 大亮さん

私は当社に入社して4年目となります。現在は、主に現場作業員として林道や森林の中で、足場や型枠の組立、重機を使った作業、支障木の伐倒や測量助手など様々な作業に従事しています。

自然の中での仕事は街中での仕事と違い、夏でも涼しく時には絶景を眺めながらの作業となります。地域の雄大な自然の中でのびのびと作業ができるのが大きな魅力です。危険な作業をしたり天候などの影響で大変な思いをしたりすることもあります。そんな時に仲間と力を合わせて安全に留意しながら作業を進めていくのも大きなやりがいの一つです。特に一汗流した後の仕事終わりに飲むプロテインは格別の極みです。

これまで林道工事や治山工事、ため池の整備工事など複数の現場に携わってきましたが、特に規模の大きい現場では完成を迎えた時の達成感も大きく大変やりがいを感じます。



作業で疲れた体にはプロテインで栄養補給

まだまだ学んでいくべきことが多いですが、これからも色々なことを学び、自分自身の成長に努め、さらに多くのやりがいを見つけていきたいと思っています。そして、森林土木という分野において、地域に貢献してだけでなく、多くの人に森林土木を知ってもらい、この分野で働く仲間を増やせるよう頑張っていきます。

美しい国有林保護のため、最前線から

青森

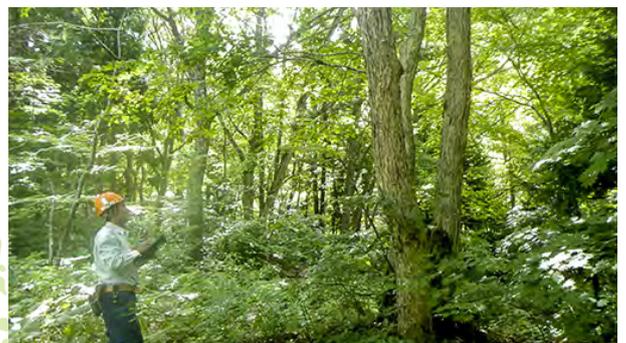
津軽森林管理署金木支署喜良市森林事務所

首席森林官 毛内 寛文さん

当事務所は、津軽半島の五所川原市の北西部にある国有林約8,000haを管轄し、主な業務は国有林野の境界管理や各種事業の監督などです。

管内には、東北森林管理局の「森呼吸のできるお手軽健康ウォーキングBOOK」にも掲載されている^{ほんじゅさん}梵珠山への登山道や林業遺産にも認定された^{つぼけさわ}坪毛沢ヒバ木製堰堤群などの見どころがあり、また、ヒバ美林誘導プロジェクトのモデル林も設定されています。

当管内において、昨年度初めてナラ枯れ被害が発生しました。ご存知の方も多いかと思いますが、「カシノナガキクイムシ」による樹木の伝染病です。虫は例年6月下旬に羽化・脱出しミズナラ等の立木に入ります。7月下旬頃から山一面の緑の中に紅葉したように見える木が被害木です。被害木は、ドローンを活用した上空探査や地上探査による調査を実施し、ナラ枯れ防除事業で処理しています。



ナラ枯れ被害調査の様子

私は、美しい自然（国有林）を守り後輩たちへ引き継ぐ事も森林官としての大事な役割と考えています。引き続き、署と連携しながら林野巡視を強化するとともに早期発見及び調査に取り組み、森林病虫害による被害を少しでも減らすために日々励んでいます。

9月中旬

毛越寺萩まつり

9月15日(日)～9月30日(月)
萩の花500株が咲き誇り、まつり期間中はイベントも開催される
(岩手県/毛越寺)

第53回おおはさまワインまつり

9月15日(日)
ワイン娘のブドウ踏み等イベントや限定オリジナルワインも販売
(岩手県/大迫ワインまつり実行委員会)

しろいし蔵王高原マラソン大会

9月15日(日)
蔵王のふもとで開催される高低差100mあるコースを走る
(宮城県/白石市)

大森親山獅子大権現舞

9月15日(日)
文明13年(1481)頃から続く尾去沢鉦山発見伝説に因む神楽
(秋田県/鹿角市)

9月下旬

新米まつり(村田の新米にひとめぼれ)

9月21日(土)～9月22日(日)
町内で栽培された新米の即売会と新米おにぎりの試食
(宮城県/道の駅村田)

白鷹鮎まつり

9月21日(土)～9月22日(日)
白鷹町誕生70周年記念行事の一つ「ようこそ日本一のヤナヘ」
(山形県/白鷹町観光協会)

東北ダリヤ名花店

9月21日(土)～9月23日(月)
川西ダリア園内で、全国でも珍しいダリヤのみを展示する品評会
(山形県/川西町産業振興課)

五感で楽しむ♪秋の森さんぽ

9月22日(日)
自然の中を散策しながら、森の声に耳を傾けてみよう
(青森県/白神山地ビジターセンター)

白神の森遊山道無料開放デー

9月28日(土)
白神山地の秋を堪能できる散策をどなたでも無料で楽しめる
(青森県/鱒ヶ沢町)

蔵王に登ろう!山ガール教室②

9月28日(土)
蔵王の自然の美しさや環境に触れ、登山の楽しさを味わえる
(宮城県/蔵王自然の家)

東北未来芸術花火2024

9月28日(土)
花火と音楽をシンクロさせた新しい芸術文化を創造する花火大会
(宮城県/東北未来芸術花火実行委員会)

なせばなる秋祭り

9月28日(土)～9月29日(日)
上杉鷹山の「なせばなる」精神を様々な催しで表現した秋まつり
(山形県/なせばなる秋まつり実行委員会)

十和田湖眺望トレッキング

9月29日(日)
絶景と山歩きを楽しもう!(有料、白神ぶな倶楽部会員限定)
(青森県/白神山地ビジターセンター)

カシオペア映画祭

9月下旬
レトロ感漂う地域のシンボル「萬代館」で行われる映画祭
(岩手県/一戸町役場産業課)

10月上旬

大館バラまつりシーズン2

10月4日(金)～10月11日(金)
約500種類の様々なバラが咲く、期間中はスイーツなどの販売も
(秋田県/大館市)

奥州市南部鉄器まつり

10月5日(土)～10月6日(日)
国の伝統的工芸品・南部鉄器をお得に購入できるほか、イベントも
(岩手県/奥州市商業観光課)

あじがさわフードフェス2024

10月6日(日)
鱒ヶ沢の「ヒラメのツケ丼、肉、スイーツ」をまるごと味わえる
(青森県/鱒ヶ沢町)

角田ずんだまつり

10月6日(日)
大豆の里角田を満喫する「秘伝豆」の販売、もぎ取り体験
(宮城県/角田市)

本場大館きりたんぼまつり

10月12日(土)～10月14日(月)
新米で作られたきりたんぼと比内地鶏の取り合わせは本場ならではの
(秋田県/大館市)

よねざわ戦国花火大会

10月12日(土)
米沢市らしく戦国をテーマにした花火大会を過ごしやすい季節に
(山形県/米沢四季のまつり委員会)

子ども達がホヤ森林について学ぶ

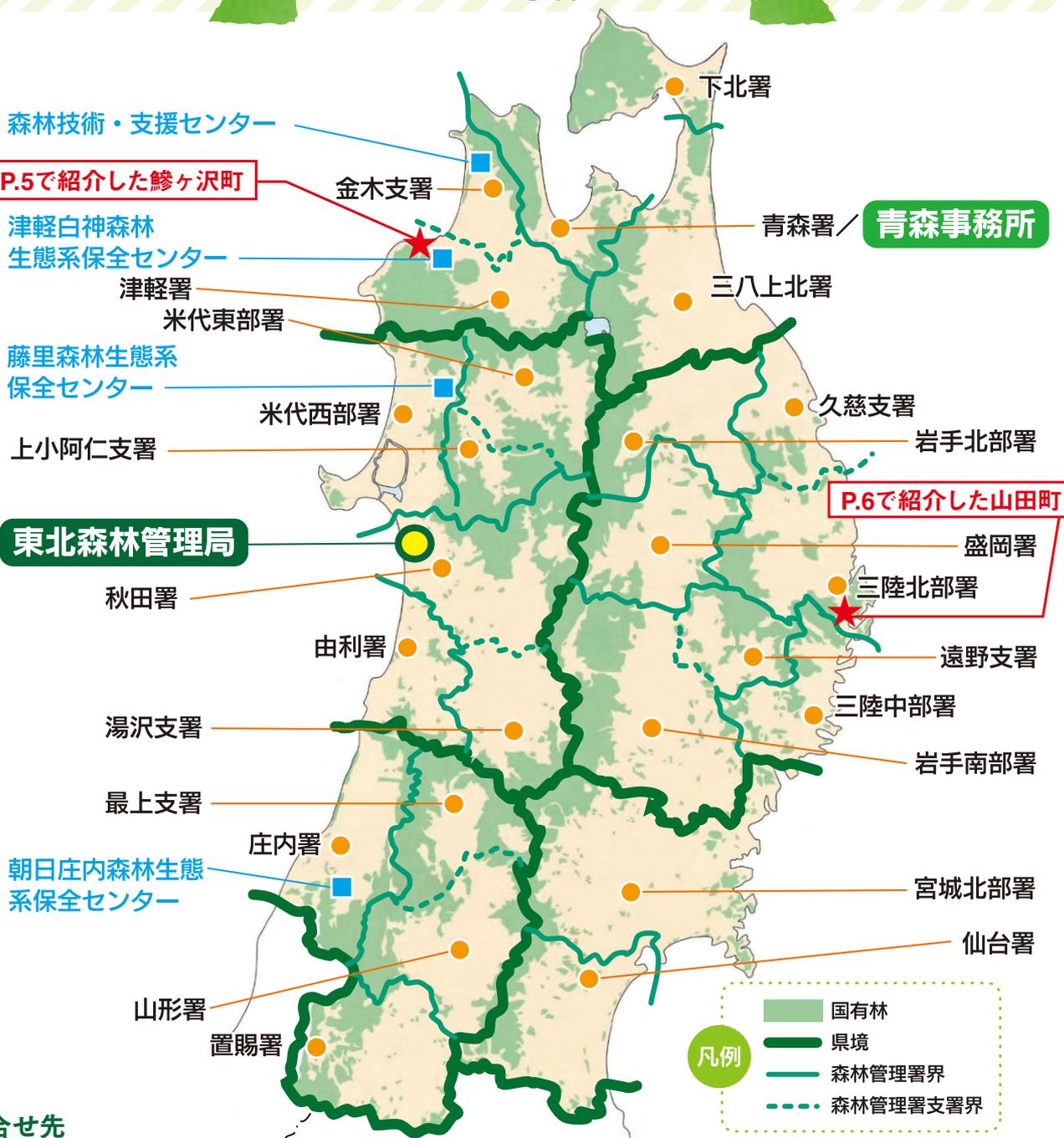
東北農政局(仙台市)を会場に「夏休みこども見学デー」が8月9日に開催され、東北森林管理局からは、カードゲーム「ZORING」体験やクラフトコーナーなどを出展し、多くの親子連れに楽しんでもらいました。ZORINGを体験した子どもからは「森林づくりを学べた」「友達とZORINGで遊びたい」など感想をいただき、充実した見学デーとなりました。



ZORINGを楽しむ親子

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130			
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511			
三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署		秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311				
津軽白神センター	西津軽郡鱒ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署		湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164				
岩手県	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	山形県	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331		山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122		置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730				
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161							
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001							
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131							
	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670							

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.246 ●発行日/令和6年9月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。